

コロナウィンドエアコン 標準取付枠 据付説明書

安全上のご注意

■据付工事前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく据え付けてください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表示	表示の意味
	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為を強制（必ず守ること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付工事終了後、この据付説明書とあまった部品は、移設時などに必要ですので、取扱説明書とともに大切に保管し、移設時などに読み直してください。

警告

据え付けは、重量に耐える所に据付説明書に従って確実におこなう。
強度不足や据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。

電気工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または、専門業者に依頼する。
電源回路容量不足や配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

窓枠に取り付けた取付枠にエアコンを取り付けて確実に固定する。
エアコンの固定が不確実な場合は、エアコン落下によるケガの原因になります。

警告

据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しく据え付ける。
取付枠や据付方法に不備があるとエアコン落下によるケガの原因になります。

アース（接地）は確実におこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。

据付工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。

注意

可燃性ガスのもれる恐れのある場所へ据え付けない。
万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

取付枠のパッキンやシールは確実におこなう。
不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

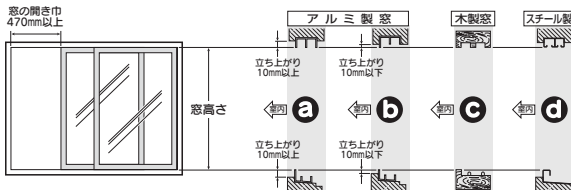
据付前の確認

- ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。
- 窓の種類、高さにより据え付け方法が異なります。
- 窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、窓の構造によっては、右側据え付けで戸締まりができない場合があります。
- 窓の開き巾は、470mm以上必要です。

■据え付けられる窓

窓の種類	窓高さ	据付手順		
		参照ページ P4	参照ページ P2	参照ページ P3
① アルミ製窓 (立ち上がり10mm以上の場合)	770~845mm	(B) →	据付手順 1~6	工事の仕上げ
	845~1400mm	(B) →	据付手順 1~6	工事の仕上げ
② アルミ製窓 (立ち上がり10mm以下の場合)	800~875mm	(A) 1 → (B)	据付手順 1~6	工事の仕上げ
	875~1400mm	(A) →	据付手順 1~6	工事の仕上げ
③ 木製窓	875~1400mm	(A) →	据付手順 1~6	工事の仕上げ
④ スチール製窓	875~1400mm	(A) →	据付手順 1~6	工事の仕上げ

■窓の高さが、1400~1900mmの場合は、「テラス窓用取付枠」(別売)と接続して使用してください。



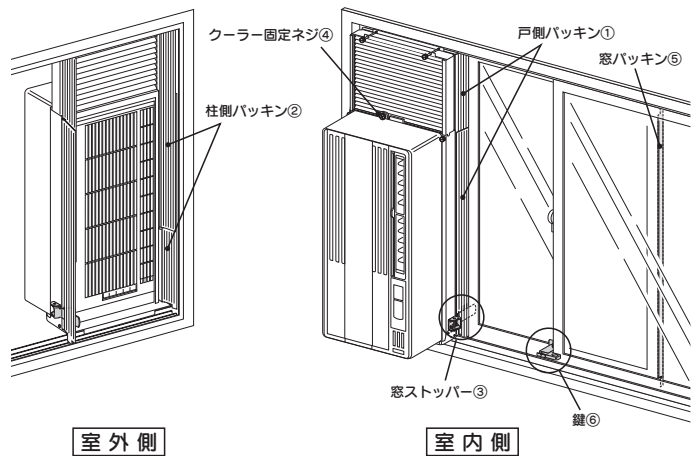
■据付場所を選ぶ

- 冷風吹出口前方に障害物がなく、部屋全体に冷風がゆきわたる場所。
- 室外側の風通しがよく、背面から出る温風がこもらない場所。
- 窓が強く揺動の伝わりにくい場所。
- 可燃性ガスのもれる恐れのない場所。
- 雨といの直下は避け、吹き降りなどにより窓から雨水が侵入しない場所。
- 背面からの温風が隣家の窓に吹きついたりせず、また騒音の伝わりにくい場所。
- 取付枠を使用し確実に据え付けをおこなわない場合は、屋内に水漏れし、家財などを濡らす原因となります。

■騒音等にもご配慮を

- 1) 据え付けにあたってはウィンドエアコンの重量に十分耐える場所で、運転音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 2) ウィンドエアコンの室外側吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 3) ウィンドエアコンの室外側吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもととなりますので吹出口付近には、障害物を置かないでください。
- 4) ご使用中、異常音が生ずる場合はお買いあげの販売店にご相談ください。

完成図

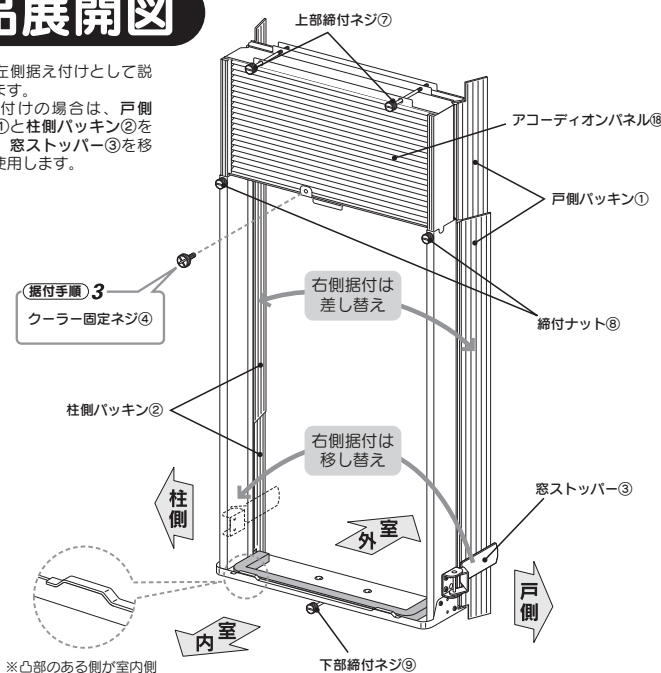


用意する主な工具

- 巻尺(約2m)
- コインまたはドライバー(幅広)
- ドライバー
- はさみ(カッター)

部品展開図

■図は窓の左側据え付けとして説明しています。
右側据え付けの場合は、戸側パッキン①と柱側パッキン②を差し替え、窓ストッパー③を差し替えて使用します。



据付手順 4

窓パッキン⑤
※粘着剤付

据付手順 5

鍵⑥

● ドリルネジ⑩
(φ3.5×10) 2本
※アルミ製窓に使用

● 丸木ネジ⑪
(φ3.5×16) 2本
※木製窓に使用

工事の仕上げ 3

粘着テープ⑫
※雨水が侵入しないように使用

(B)裏面

小窓シール⑬
※高さの低い窓の時に使用
※粘着剤付

工事の仕上げ 4

パテ⑭
※雨水が侵入しやすい所に使用

(A)裏面

補助金具⑬ 2本
※窓の立ち上がりが低い時に使用

ドリルネジ⑩
(φ3.5×13) 4本
※アルミ製窓に使用

丸木ネジ⑪
(φ4.1×20) 4本
※木製窓に使用

据付手順

窓の右側据え付けの場合は

右側据付へ

据付手順 1へ戻る

アルミ製窓(立ち上がり10mm以上)で、窓高さが845~1400mmの場合は

据付手順 1へ

それ以外の窓の場合は

裏面 A または B へ

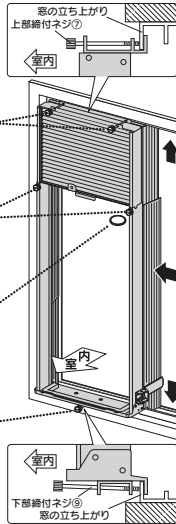
据付手順 1へ戻る

1 枠を据え付ける

注意 ネジ・ナットは、必ずコイン(⊖ドライバー)を使用して増し締めをしてください。ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。

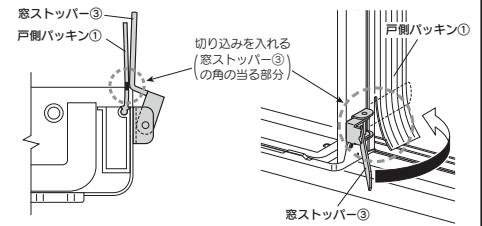
■ 1 から順番におこなってください。

- 1 上部締付ネジ⑦を締める
- 2 枠上部を上げる
- 3 下部締付ネジ⑨を締める
- 4 枠下部を差し込む
- 5 締付ナット⑧を締める
- 6 増し締めをする
- 7 枠を寄せる

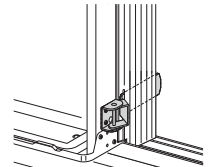


2 戸側パッキンに切り込みを入れる

■ 窓ストッパー③を倒して戸側パッキン①に切り込みを入れる位置を決めます。はさみ(又はカッター)で下から切り込みを入れます。

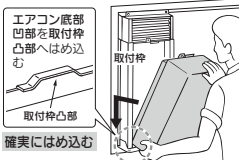


■ 戸側パッキン①に切り込みを入れた後、窓ストッパー③を倒して切り込みの中に入れるようにします。



3 エアコンを取り付ける

- 1) 取付枠にエアコン下部が突き当たるまで入れ、取付枠下部の凸部に、エアコン底部の凹部を乗せます。

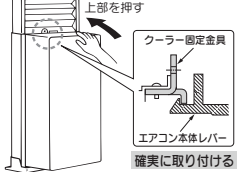


注意

- 手をはさまないように注意してください。
- オープンパネル下部の引掛け部は持たないでください。オープンパネルがはずれ、機具が落下することがあります。

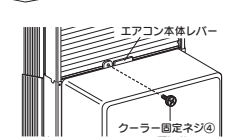


- 2) エアコンの上部を押して、仮固定します。



注意

- 確実に掛かっているか確かめてください。
- エアコン本体レバーを下に押しとエアコンがはずれます。



- 3) クーラー固定ネジ④で、取付枠にエアコンを固定します。

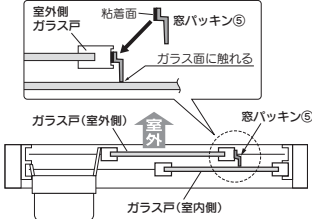
必ず取り付けてください。

4 窓パッキンをつける

- 1) ガラス戸のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止するため、室外側のガラス戸に窓パッキン⑤を図のように貼り付けてください。

注意

貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。



- 2) ガラス戸の形状、長さに合わせて切断してください。



5 鍵をつける

■ エアコン使用中の戸締まりのため、鍵⑥を取り付けます。

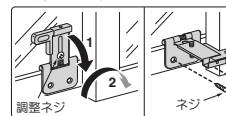
■ 1 から順番におこなってください。

- 1) 窓ストッパー③をセットする

注意

■ 窓の種類により、窓と窓ストッパーのあたる部分が10mm以下の場合、窓を強く閉めると窓ストッパーが効かない場合がありますのでご注意ください。

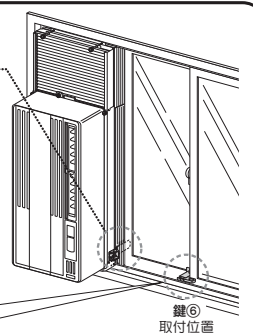
- 2) 鍵⑥の調整ネジをゆるめ、戸の厚さに合わせる



- 3) 鍵⑥をネジで取り付ける

[アルミ製窓の場合] 皿ドリルネジ⑩ (φ3.5×10) 2本
[木製窓の場合] 皿木ネジ⑪ (φ3.5×16) 2本

6 工事の仕上げへ (裏面)



お願い
窓の構造によって鍵が取り付けられない場合や、戸締まりが不十分な場合には、市販の窓用鍵を利用して戸締まりをしてください。

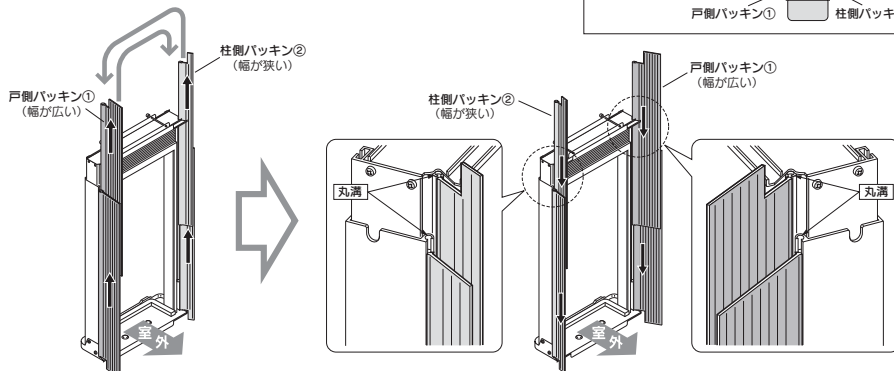
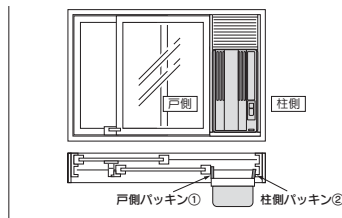
注意 防犯上、付属の鍵では戸締まりが十分ではありません。お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーをはずし、窓を開けて窓の鍵をかけてください。

右側据付

注意 右側据え付けの場合、窓の構造によっては戸締まりができないことがあります。窓が取付枠にあたりなく完全に閉まることを確認してください。窓が取付枠にあたる場合は、左側据え付けに変更してください。

1 戸側・柱側パッキンを差し替える

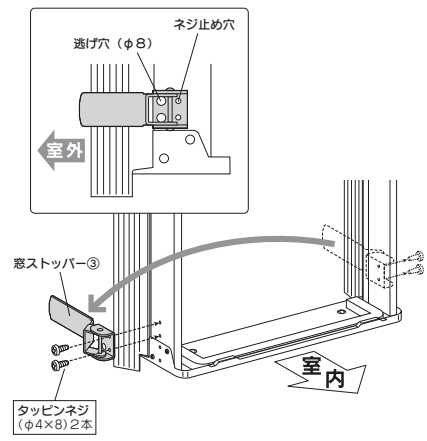
- 1) 戸側パッキン①、柱側パッキン②を取付枠の丸溝に沿って上から抜いて左右を差し替えます。
- 2) 戸側パッキン①、柱側パッキン②を取付枠の丸溝に沿って上から差し込んでください。上下に切り欠きがかかるよう差し込み方向に注意してください。



2 窓ストッパーを移し替える

■ 右側に付いている窓ストッパー③のネジ2本をはずして枠の左側に取り付けます。

※逃げ穴(φ8)が室外側になるように取り付けてください。

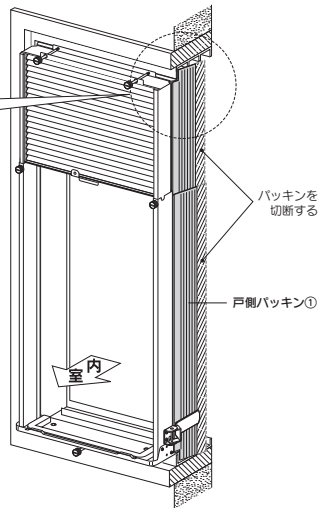
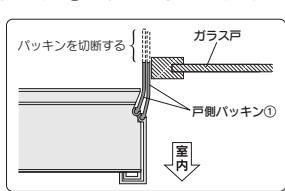


工事の仕上げ

戸側・柱側パッキンの曲がりくせは、高温にさらすか、お湯につけてなおすことができます。

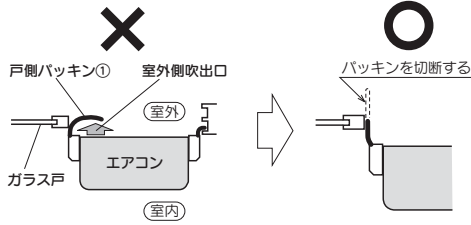
1 戸側パッキンを切断する

■ガラス戸よりはみ出した戸側パッキン①を溝に沿って切断します。



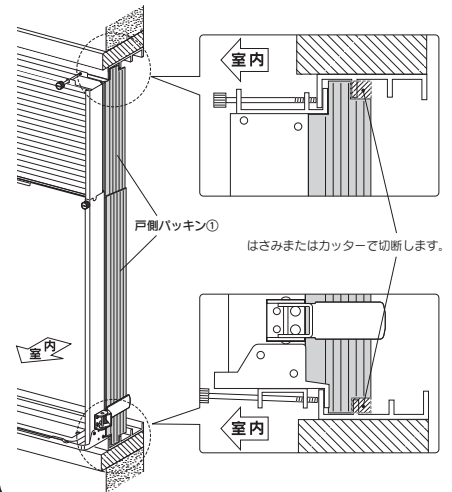
右側据え付けの場合

エアコンの吹出口をふさぐおそれがありますので、必ず切断してください。



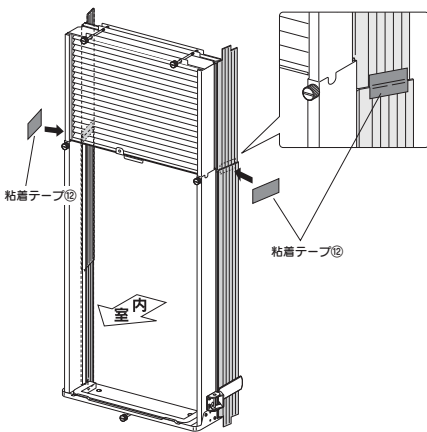
2 戸側パッキンを切り欠く

■戸側パッキン①を窓の形状に合わせて、はさみ(カッター)で切り欠きます。



3 粘着テープを貼る

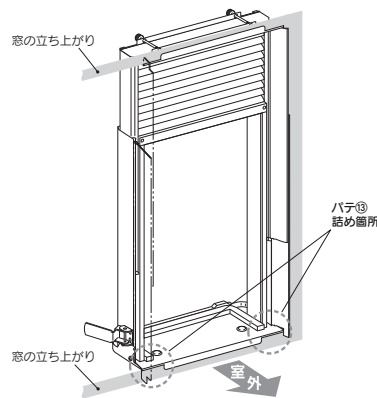
■パッキンの合わせ部を粘着テープ⑭で貼り、固定します。



※戸側・柱側を同様におこないます。

4 パテを詰める

■窓と取付枠のすき間から雨水が侵入しないようパテ⑮を詰めます。



※特に下部のパテ詰めはしっかりおこなってください。
※その他の箇所でも取付枠と窓との間にすき間がある場合は、その部分にもパテ⑮を詰めてください。

■エアコン廃棄時にご注意願います。



ウインドエアコンには最大でCO₂(温暖化ガス)900kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、ウインドエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。(廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます)

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

据付後の確認

■各部品は所定のところに正しく取り付けられていますか。また、取付枠にガタツキはありませんか。各部のネジが確実に締まっているか確認してください。

■エアコンは、取付枠に確実に取り付けられていますか。また、エアコン取付用のクーラー固定ネジは、確実に締まっていますか。

■戸側パッキンがエアコンの吹出口をふさいでいませんか。戸側パッキンは必ず窓に合わせて切断してください。

■雨もりの原因となるすき間はありますか。すき間がある場合は、付属のパテで防水シールしてください。

■運転する際には、窓・あみ戸を必ず開けてください。

■台風や暴風雨のとき、また長期外出するときなど、エアコンを停止し、雨戸や窓を開けてください。

ドレン水の排水

■ドレン水の排水工事不要

ドレン水をエアコンの内部で蒸発させ機外に出さないようになっています。このため面倒な排水工事は不要です。

■移設時・シーズン後のドレン排水について

移設時やシーズン後、エアコン内部にたまったドレン水は室外排出口から排水します。

■排水手順

- 1) 水受け容器を準備します。
- 2) エアコン本体底面にあるゴム栓をはずし排水します。
- 3) 排水完了したらゴム栓を元の位置に確実に取り付けます。

据え付け及び、取付枠についてのご相談は、お買いあげの販売店にご依頼ください。

電気工事

■水気のある場所あるいは湿気の多い場所で使用される場合は、感電事故を防ぐため、アース工事や漏電しや断器の取り付けが必要です。

■電気工事・アース工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事やアース工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。

電源

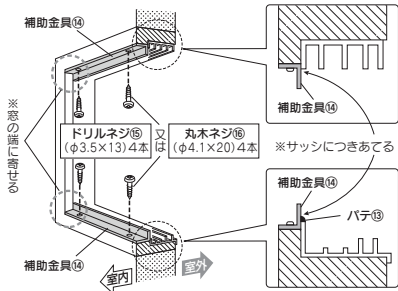
■電源プラグの改造や電源コードの延長、タコ足配線は、しないでください。感電、火災の原因になります。

■屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用し、100V15A以上のコンセントが確認してください。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。

A 据付窓の立ち上がりにネジ止めできない場合

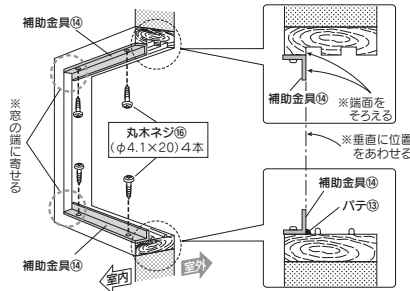
1 補助金具を取り付ける

【アルミ製窓の場合】



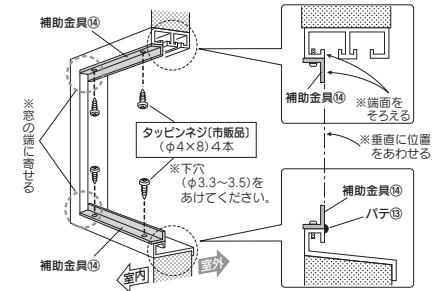
■窓の下側に取り付けした補助金具④と窓枠の間はパテ③をすり込んで防水シールしてください。

【木製窓の場合】



■補助金具は窓の開閉ができる位置に取り付けてください。
■窓の下側に取り付けした補助金具④と窓枠の間はパテ③をすり込んで防水シールしてください。

【スチール製窓の場合】



■右側据え付けで戸締まりできない場合は、左側据え付けにしてください。
■窓の下側に取り付けした補助金具④と窓枠の間はパテ③をすり込んで防水シールしてください。

2 枠を補助金具に取り付ける

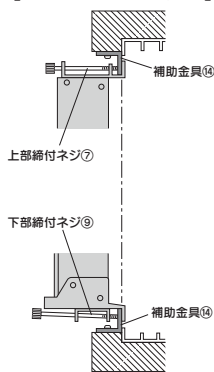
■補助金具に上部・下部締付ネジで取付枠を取り付けます。

据え付け方は、表面の **据付手順 1**へ

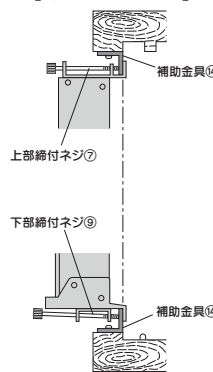
注意

右側据え付けの場合、窓の構造によっては戸締まりができないことがあります。窓が取付枠にあたりなく完全に閉まることを確認してください。窓が取付枠にあたる場合は、左側据え付けに変更してください。

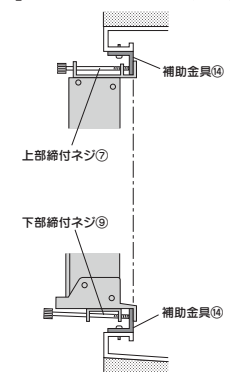
【アルミ製窓の場合】



【木製窓の場合】



【スチール製窓の場合】

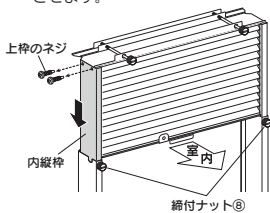


B 据付窓の高さ寸法が低い場合

■図はアルミ製窓を基本に説明しています。

1 アコーディオンパネルをはずす

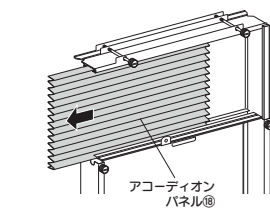
1) 窓ストッパー③の付いていない側の上枠のネジをはずし、内縦枠を下スライドさせます。



※取り外したネジは、後で必要ですので、なくさないでください。

※締付ナット⑩ははずさないでください。内部の部品がはずれるおそれがあります。

2) アコーディオンパネル⑩を横へスライドさせ、はずします。



2 窓の高さに合わせて作業する

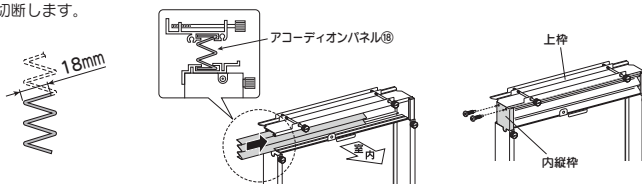
【窓の高さ770~773mm (アルミ製) の場合】

1) 小窓シール⑦を貼り付けます。 2) 内縦枠を引上げて上枠にネジ止めします。



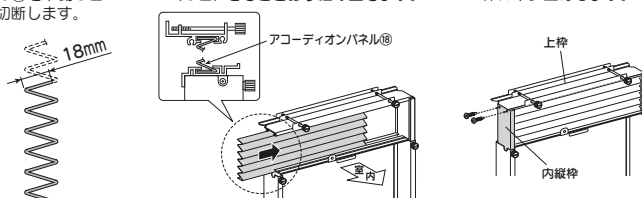
【窓の高さ773~800mm (アルミ製) の場合】

1) アコーディオンパネル⑩を下側3山分切断します。 2) 切断したアコーディオンパネル⑩(3山)をもとどおり組み立てます。 3) 内縦枠を引上げて上枠にネジ止めします。



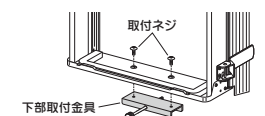
【窓の高さ800~845mm (アルミ製) の場合】

1) アコーディオンパネル⑩を下側6山分切断します。 2) 切断したアコーディオンパネル⑩(6山)をもとどおり組み立てます。 3) 内縦枠を引上げて上枠にネジ止めします。



【窓に下部取付金具があたってはめ込みできない場合】

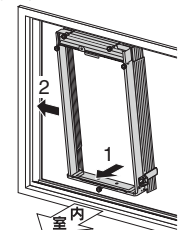
1 下部取付金具をはずす



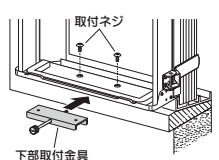
※下部取付金具、取付ネジは後で必要です。なくさないでください。

2 枠をはめ、端に寄せる

上枠をサッシに差し込み、下枠を室外側から室内側へ1の矢印方向に引き入れて、サッシの下の立ち上がりにのせ、2の矢印方向に寄せます。



3 下部取付金具を止める



3 枠を据え付ける

据え付け方は、表面の **据付手順 1**へ